様式３（2020.08改）

作成日　令和3年2月4日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2375000078
事業所名	グループホーム嬉楽家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	コロナ禍においても、サックスのボランティアを招き、ホームの縁側で感染対策をしつつ、演奏会を実施した。 ボランティアの受入れ・地域店舗での買い物・ホーム行事への地域住民の参加など、交流の再開が待たれる。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	コロナ禍により、今年度は会議を中止し、ホームの取組みを写真付き文書にて送付し、会議メンバーに報告している。 コロナ禍以前は家族・地域代表・市担当者・市内グループホームの管理者が会議に参加していた。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	制度に関する事や、身体拘束適正化委員会等の不明点は市長寿課に相談し、日頃から緊密に連携している。 地域包括支援センターとは、気軽に情報交換できる関係を築いている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	コロナ禍により、現在はガラス越し面会やリモート面会、敷地内喫茶での面会にて意見交換をしている。コロナ禍以前から、家族の訪問は多い。 リモート面会の利点を活かし、遠方の家族との交流を可能とした、新しい発見もある。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

備考欄】

ホームの判断で6回とも中止にした。ただし、1回は写真付き文書を送付して、ホームの取り組みを報告した。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										